

<div style="border: 1px solid black; padding: 2px; display: inline-block;">~2022</div> <h1 style="margin: 0; padding-left: 10px;">地域福祉演習</h1>	単位数	履修方法(授業形態)	配当学年
	2単位	SR(演習)	1・2年
	担当教員	高橋 誠一	

## ■授業のテーマ

地域福祉、あるいは地域福祉に関連する研究課題を検討する

## ■授業の目的

地域福祉に関する先行研究と研究方法を学び、自分の地域福祉に関する研究を進めていくことが目的である。

## ■授業の到達目標

- 1) 地域福祉に関するの文献、資料の収集ができるようになる。
- 2) 各種の報告書、学術論文を読んで、理解できるようになる。
- 3) 自分の研究テーマを見つけることができる。
- 4) 関心のある研究テーマを追求し、効果的な発表を行い、レポートとしてまとめることができる。

## ■授業の概要

この演習では、地域福祉をかなり広く考えるので、地域福祉に関連する領域もテーマとして考えて構わない。たとえば、幅広くコミュニティビジネスや地域づくりについても研究テーマとなる。地域福祉に関する研究課題を明らかにし、研究に取り組む上で重要な方法論を学ぶ。授業では、技法的なことよりも、取り組み方、研究を進める上での基礎的なリテラシーの習得を重視する。その上で、適切な論文を探し、文献レビューを行うことの意義と具体的な方法を学ぶ。合わせて、簡単な因果推論、システムズアプローチの考え方にも触れる。自分のテーマ、関心ある論文をプレゼンテーションしてもらい、発表の仕方も学ぶ。最後に、レポートにまとめたり、リサーチ・デザインができるようになることを目指す。

## ■スクーリングの事前課題（学修時間の目安：12時間）

第1回スクーリング（1～4コマ）：自分の地域福祉についての関心、今後取り組みたいことについてレジュメ（書式自由）を用意した上で発表する。参考にした文献等があれば、明記のこと。研究の技法ではなく方法論について、テキスト1）を使って学ぶ。事前に読んでおき、疑問点があれば、書き出しておくこと。

第2・3回スクーリング（5～12コマ）：関心のある論文を決め、レジュメを予め作成し、それを用いて発表をしてもらう。発表内容を基に討論する。各自発表の準備を進めること。

## ■スクーリング授業計画（状況に応じて会場ではなくリモートで実施します）

	授業の内容	授業の方法
1	地域福祉について関心あるテーマを発表する	リモート
2	研究方法について学ぶ①リサーチ・リテラシー	リモート
3	研究方法について学ぶ②文献レビュー	リモート
4	研究方法について学ぶ③リサーチ・デザイン	リモート
5	レポートの作成方法を学ぶ	対面
6	研究課題の発表	対面
7	発表研究課題についてディスカッション	対面

	授業の内容	授業の方法
8	ディスカッションに対する研究指導	対面
9	関心のある論文の報告	対面
10	報告した論文について議論	対面
11	議論に対する研究指導	対面
12	まとめと修士論文に向けた準備について研究指導、スクーリング事後課題へのアドバイス	対面

### ■スクーリングの事後課題

課題 1	研究テーマについて発表した内容および報告した論文を基に、レポートを作成する。
------	--

※提出されたレポートは添削指導を行い返却します。

### ■アドバイス

詳細については、スクーリングの最後に説明する。

### ■評価の方法・基準

スクーリング時の参加度30%、プレゼンテーション30%、事後課題レポート40%

### ■参考文献（\*印=大学から送付される必読図書）

\*1) 佐藤郁哉『はじめての経営学 ビジネス・リサーチ』東洋経済新報社、2021年

「地域福祉論研究」「社会福祉学特別研究Ⅱ」を参照のこと。